

寺報

龍正寺

日なた 187号

福力

日延



<令和 5年 12月>

宝龍会
護持会

令和5年お会式会法要



祖父江上人の御指導のもと檀信徒の皆様と唱題行に参加させて頂きました。
呼吸を整えて、お題目を一心に唱える事ができました。

お会式会では檀信徒皆様が開花させたお万燈を奉納させて頂きました。結縁の綱角塔婆の前で檀信徒の皆さんが思いを込めて合掌・礼拝されました。



住職一言 大古尊天

寒暖差が激しい毎日です。お身体には充分気を付けて下さい。
写真はお山に於いて10月8日宗祖日蓮大聖人第クダの遠忌
お会式会並に唱題行法要の御報告です。今回は当山に
勧請の大古尊天についてお話しいたします。

当山の大古尊天は住職が昭和50卯年11月1日に日蓮
宗大荒行堂第参行(大黒相承)に入行した時感得した
大古尊天です。大古様と言えは縁結の神様とか唐
虎繁盛の神様としたわけていますが、色々自分自身の心
を諭して下さい。偉せを与えて下さい。

大黒様は大と黒で呼ばれますが、当山は大と古と久
で大古様と言っています。昭和50年11月1日卯年に大荒行
に入行して昭和51年2月10日辰年に出行しました所から卯辰
の大古尊天とし勧請し、また入行する時はノ弁杓の大古
尊天を持って入行し伝師上人に開眼をお願いした
所、開眼法要の時、私の大古様が見当らず伝師上人に
お尋ねした時、ありますよの一言いわれましたが半信半疑
でした。開眼法要終了後大古様を伝師上人から手渡さ

此の時、私が持って入行した時の大古久様と違って高さ30cm
以上ある大きな走り大古久尊天を手渡され伏っくりして立ち
すくみました。小さな大古久尊天が大きな大きな走り大古久
尊天となって、変化して龍正寺に帰って来ました。変化大古久尊天
と呼んでいます。故に当山は「卯辰変化摩伽伽羅大古久尊天」
として勧請してあります。縁起の良い大古久尊天です。自分自身の
心の悩み願いがあれば大古久尊天にお題目を唱えて下さい。良
事があるのではないかと思います。大古久尊天の縁日は2ヶ月に
1回 甲子の日です。令和6年1月1日辰年で甲子の日です。卯辰変化
摩伽伽羅大古久尊天の縁日を迎えた事は不思議です。百蓮大聖
人は大古久様の御姿が示す如く、いっものにこにこ愚痴や不平を閉
ざりこめて慈悲の眼で働けば打出の小槌から福が飛び出すと福
祿自在なることを御教られています。

当山では令和6年1月1日は朝5時より元朝祝禱会です。甲子の日
で卯辰変化摩伽伽羅大古久尊天の縁日です。御参拝をお待
ちしています。

南無妙法蓮華経

合掌

秋の訪れ

さわやかな秋空が広がっています大きく
深呼吸をしてみます 勿体ないほどに
生かされている今を思います 心が晴れ
ます... 食欲の秋 くりきんとん くりモンブラン
くり大福 くりどらやきとおいそうな品々に
酔います... 先祖も永代供養に護国
神社さんへ参拝とさせて頂きました時に
宮司さんがいとおっしゃるので 参拝者も
だんだんと風化されてゆきさみしさを感じ
ずべて神仏さまの計いの中にあふとも心に
止めてゆかねばのように思います
父と兄と話し涙の参拝を致しましたが
父と兄は居きますとがよろこびでございます

帰りにおにぎりのお弁当がいただけましたので
岐阜公園のベンチで一版返しおにぎりを
たのしみました。一版でよせばいいのに2倍も
やはり食欲の秋に負けるわたくしです。
秋空の下ですものおしさは増増です。

散歩中の老夫妻、若い方、お子様づれで
家族でと行きかう人さんが多く、人さん
ウォッチングをたのしみました...

噴水のまわりには小花がいっぱい咲いて
ます。美しくかわいらしい花を見ながら

こうして自然の中に入られる今よるご来りした

紅葉は少し早いかなあ... でも色づいている

木々もあります。あち、こちを眺めながら

今よるご来りに感謝の思一杯でござい

ます。このよるご来りも法々経の法の学びの

おかげさまでございます そして幸せ感と
お導きをいただいておりますように思います。

そして いつの時もおまげにいて下さって...
之を風にお還り下さって下さる事が何れ

のよろこびです。

心を学びたい
心に残っております。

よろこば
よろこびが よろこびを
連れてよろこんで
やってくる

長期にわたる戦争が続いておられる今に
しても心が痛みます。お寺でいつもご経を
させて いただいております方よりお聞き致しました

おたくしはいつも観音経を二回唱えます。

一回は平和を祈りの読経ですと
良きことを学ばせていただきました

今日一日のふじにお礼 として平和を願ひ

祈りを込めての読経の姿性と

学ばせていただけましたことのよろこびで

ございます これからの時代には想像を
絶すような世の中が到来すでしょう…

皆さん未来をよく見てゆくために元気を
出ましよう と 本で読みました!!

先目のご法話より 足が一步前に出せること
のよろこびを学びました

足が一步前に出せるということは各々が
こころに当てはまるように思ってみます

第一目を蒙り、思いでお題目に心を込め
て積み重ねてゆけますことを大切にさせて

頂きたいと思ってみます

お題目のおかげさまによるこころの念掌が

ございます… 女房に感謝の

お礼を申します

ありがとうございます

ございます

病いからの復活

主人が心筋梗塞・脳梗塞の病いに倒れて2年か
過ぎました。その後遺症で高次機能障害と失語症
見舞われました。うまく会話が成立しない・携帯の操作が
困難・考え(思い)と行動が繋がらない等々...あり。本人も
どれほど辛く苦しい思いをした事でしょう。家族としても
本人の不安同様に、戸惑いやこれからの生活を考え
る日々、格闘が続きました。

御住職に朝勤祈願をお願いし、私も一心に御
題目を唱えました。

毎日の生活の中で少しずつ、彼の体調は変化しました。
リハビリ病院から退院後、自宅で言語リハビリを定期的
に受け、ひきこもりにならない様にヘルパーとの散歩等を
継続しました。ようやく今ほぼ8割ほど回復しました。
本人の努力はもちろん、子供・孫の協力もありました。

我が家にはもうひとつ大きな支えがありました。それは
法華経・日蓮大聖人のお教え、御題目です。幾たびか
心が折れそうになり、不安の心に負けてしまう事もあり

ましたが、お寺で御題目を唱えていると、不思議に「何とかする。」と思えてきました。御住職にも「大丈夫です。諸天善神が微笑んでおられますよ。」と声をかけて頂いた事もありました。

今年介護保険の更新時に、「激的な回復力ですね。」とケアマネージャーをはじめ関わって頂いた福祉・医療の方々に大鼓判を押してもらえました。

11月19日、5年ぶりに龍正寺 因参があります。行き先は身延山久遠寺です。今回息子・娘家族全員で参加します。まさかこのような日か、訪れるとは思っていませんでした。感謝・感謝・感謝です。

皆で日蓮大聖人様のお膝元へ参ります。

この倖せ・喜びが長く続くといつも祈っています。

「チャンス」

時々、自分に「チャンス」...「動く・動く」と言いながら行動に移っています。

休みの日、朝5時に目が覚めた時 これはチャンスと思い行動しはじめます。ラジオ体操、洗濯部屋の片付け等々...

体が楽で動ける時、これはチャンスと思いいたまっている仕事を1つずつ片付ける。

今まで、体調不良が続いていた私には、この「チャンス」という言葉のフレーズがプラスに働くみたいで行動するとの源になっていました。

やる気がどうしてもおこらず、ひどい時は、買い物か面倒、お風呂そうじ面倒、お風呂入るの面倒、そうじ面倒という状態が数ヶ月続く。体が疲れてきているので布団までたどりつけず、床で寝るということも週のうち4日位ありました。

少し業務にゆとりができたので、これをチャンスとして何かするといいかもと思うようになり、パソコン教室へ

通うようにしたり、フイルに通いたいと思っていたことも
行動に移せるようにしたりしました。

今の私には自分に鼓舞したい時に「チャンス・チャンス」
と言葉に出し、行動するうちに心がけて過ぎて
いきます。そしてますます精進していきたいと思っ
ています。

< 11月行事予定 >

11月13日(月) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人小松原報恩会
鬼子母尊神) 祈祷会
七面大明神
大古久尊天祈願会

19日(日) 身延山 団参

< 11月住職の予定 >

寺院に法務

< 11月の予定 >

11月6日(月)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
12日(日)		